



平成19年11月9日

各 位

会社名  乾汽船株式会社  
代表者名 代表取締役社長 乾 新悟  
(コード番号 9113 東証・大証第1部)  
問合せ先 取締役経理部長 阿部 健二  
電 話 03(3548)3273

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年8月10日の第一四半期決算発表時に公表した平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成20年3月期通期業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

##### (1)連結

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	20,000	5,600	5,500	4,600
今回修正予想(B)	23,200	10,000	9,500	7,000
増減額(B-A)	3,200	4,400	4,000	2,400
増減率(%)	16.0	78.6	72.7	52.2
(ご参考)前期実績(平成19年3月期)	17,446	3,871	3,700	2,231

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 249円19銭

##### (2)個別

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	20,200	5,500	5,600	3,400
今回修正予想(B)	23,500	10,100	10,000	6,100
増減額(B-A)	3,300	4,600	4,400	2,700
増減率(%)	16.3	83.6	78.6	79.4
(ご参考)前期実績(平成19年3月期)	17,781	3,753	3,791	2,343

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 217円16銭

## 2. 修正の理由

当中間期につきましては、平成19年10月26日に修正発表のとおり、燃料油価格の高止まりというマイナス要因があったものの、不定期船マーケットの運賃市況が予想以上に上昇し、また為替も当初前提より円安傾向が続いたため、業績は当初の予想を上回りました。

下期につきましては、燃料油価格は更に高騰が見込まれ、また、為替についても経済の不確定な状況より円高が進行する等の業績悪化となる要因はあるものの、高レベルにある海運市況がこれらを吸収し、総じて堅調に推移する見込みとしておりますので、通期業績予想を上記の通り上方修正いたします。

※上記の業績予想は、現時点において当社が合理的と判断する一定の前提に基づいております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

### <ご参考>

平成19年10月26日に修正発表いたしました、平成20年3月期中間期業績数値(平成19年4月1日～平成19年9月30日)につきましては、本日「平成20年3月期 中間決算短信」にて公表いたしましたので、そちらをご参照ください。

以 上